

HA環境でのSSMのオンプレミスノードのアクティブまたはスタンバイノードの交換

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[アクティブノードの交換](#)

[スタンバイノードの交換](#)

[オンプレミスサーバでHAを形成する手順](#)

[1.アクティブノード](#)

[2.スタンバイノード](#)

[3.アクティブノード](#)

[追加情報](#)

概要

このドキュメントでは、ハイアベイラビリティ(HA)環境でSmart Software Manager(SSM)オンプレミスのアクティブノードまたはスタンバイノードを交換する方法について説明します。

背景説明

オンプレミスサーバの導入時には、スタンドアロンノードとして導入されます。二次展開として実装される概念はありません。これは、オンプレミスアプリケーションの開発方法によるものです。複数のコンテナが1つのエンティティに統合され、ユーザに対するエンドアプリケーションとしてホストされます。

ベストプラクティスは次のとおりです。

ノード	IP	参照値
A	x.x.x.a	10.106.43.11
B	x.x.x.b	10.106.43.13
仮想IP(VIP)	x.x.x.c	10.106.43.17

HAが統合され、適切であると仮定します。ノード「A-x.x.x.a」はアクティブノードで、ノード「B-x.x.x.b」はスタンバイモードで、仮想IP(VIP)は「x.x.x.c」になります。

最初は、図に示すように、無傷の場合の実際のHAステータスは正常です。

**Normal**

The status of the high availability cluster is normal.

Heartbeat

Connection status: **Connected**

VIP 10.106.43.17**Active Server**

public address (10.106.43.11)
primary-node (169.254.0.1)

**Active****Standby Server**

public address (10.106.43.13)
secondary-node (169.254.0.2)

**Standby**

アクティブノードの交換

アクティブノードを置き換えるユーザを想定します。

このシナリオでは、スタンバイノードがアクティブノードの位置を引き継ぎ、ネットワークはVIP上で機能し続けます。

**Degraded**

The cluster is degraded One of the cluster nodes is offline

Heartbeat

Connection status: **Disconnected**

VIP 10.106.43.17**Active Server**

public address (10.106.43.13)
secondary-node (169.254.0.2)

**Active****Standby Server**

public address (10.106.43.11)
primary-node (169.254.0.1)

**Degraded**

アクティブノードを次の手順で置き換えることができます。

1. 現在アクティブなノード (スタンバイノード) から有効なバックアップを作成します。
2. そのノードからオンプレミスコンソールを介してコマンド`ha_teardown`を実行します。
3. 新しいオンプレミスサーバを導入し、バージョンが一致することを確認します。

- その後、収集したバックアップをこの新しく構築されたノードに復元します。
- その後、HAを最初から開始します。

スタンバイノードの交換

スタンバイノードを置き換えるユーザを想定します。

このシナリオでは、アクティブノードはそのまま残り、ネットワークはVIP上で機能し続けます。



High Availability

Host Event Logs

Degraded
The cluster is degraded One of the cluster nodes is offline

Heartbeat
Connection status: **Disconnected**

VIP 10.106.43.17

<p>Active Server public address (10.106.43.11) primary-node (169.254.0.1)</p>  <p>Active</p>	<p>Standby Server public address (10.106.43.13) secondary-node (169.254.0.2)</p>  <p>Degraded</p>
---	---

ユーザはスタンバイノードを次の手順で置き換えることができます。

- オンプレミスコンソールから、アクティブノードでコマンド`ha_takedown`を実行します。
- 新しいオンプレミスサーバを導入し、バージョンが一致することを確認します。
- その後、HAを最初から開始します。

オンプレミスサーバでHAを形成する手順

HAを最初から形成する手順：

1.アクティブノード

- オンプレミスコンソール。
- `ha_generatekeys <HAクラスタパスワード>`。

2.スタンバイノード

- `ha_provision_standby`。
- アクティブノードのIPアドレスを入力してください：<x.x.x.a>。

3. アクティブノードのプライベートIPアドレスを入力してください：<デフォルト値のままにします>。
4. スタンバイノードのIPアドレスを入力します。<x.x.x.b>。
5. スタンバイノードのプライベートIPアドレスを入力します。<デフォルト値のままにします>。
6. HAクラスタパスワードの入力：<ha_generateで使用されるHAクラスタパスワード>。

3.アクティブノード

1. ha_deploy。
2. アクティブノードのIPアドレスを入力してください：<x.x.x.a>。
3. アクティブノードのプライベートIPアドレスを入力してください：<デフォルト値のままにします>。
4. スタンバイノードのIPアドレスを入力します。<x.x.x.b>。
5. スタンバイノードのプライベートIPアドレスを入力します。<デフォルト値のままにします>。
6. 仮想IPアドレスの入力：<x.x.x.c>。
7. HAクラスタパスワードの入力：<ha_generateで使用されるHAクラスタパスワード>。

追加情報

- SSM On-Premにはフェイルバック/フェールオーバーの概念はありません。これは、設計のプライマリモードもセカンダリモードも存在しないためです。
- ユーザは、ノードがアクティブな場合にのみha_tearndownコマンドを実行できます。スタンバイノードの場合、システムは「**Run the command on the active node first**」というバナーをスローします。
- 段階的な展開手順については、インストールガイドの「VMへの手動インストール」のトピックを参照してください。
- これは、SSMオンプレミバージョン8-202201のインストールガイドの[リンク](#)です。
- 「[SSM On-prem 8. x HA cluster](#)」の詳細については、この記事を参照してください。

この使用例に関する問い合わせがまだ残っている場合は、サービスリクエスト(SR)をオープンして詳細なサポートを受けてください。